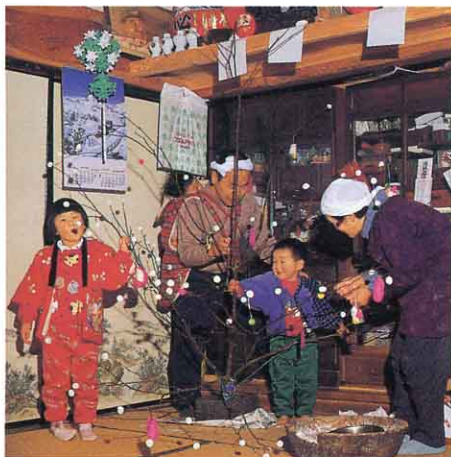


月日と行事名	行事の内容・由来	料 理
9月23日 秋の彼岸	秋分 <small>しゅうぶん</small> の日 <small>ひ</small> に当たる。祖 <small>そ</small> 先 <small>せん</small> の霊 <small>れい</small> をくようする。	おはぎ、てんぷらなど。
12月1日 かびたれ餅	水の神様 <small>かんしゃ</small> に感謝 <small>すい</small> し、水 <small>みづ</small> 難 <small>なん</small> にあわないようにする。	粉もちをついて、水神 <small>すいじん</small> 様 <small>さま</small> か川 <small>がわ</small> にそなえする。
12月20日 大黒様の年とり 頭巾 <small>ずきん</small> はずし	大黒様 <small>だいこくさま</small> は質素 <small>しつそ</small> な神様 <small>かみさま</small> でその好物 <small>こうぶつ</small> の菜飯 <small>なめし</small> をたいてそなえる。	たくあんや漬大根葉 <small>つけだいこんば</small> をきざんで納豆 <small>なっとう</small> とまぶして食べる。あまりおいしいので大黒様 <small>だいこくさま</small> も頭巾 <small>ずきん</small> をはずしたという。
12月22日 冬至 <small>とうじ</small> かぼちゃ	寒い冬 <small>さむいふゆ</small> の間 <small>ま</small> ふそくしがちなビタミンをカボチャを食べておぎなう。	カボチャと小豆 <small>あずき</small> をにて食べたり、豆腐汁 <small>とうふじり</small> を食べる。
12月31日 年とり	新しく一つ年をとるとい <small>きつしょう</small> う吉祥 <small>きつしょう</small> を祝い、この夜 <small>としや</small> を「年 <small>としや</small> 夜」という。	べにのような塩鮭 <small>しおじゃけ</small> と雪 <small>ゆき</small> のようなご飯 <small>さんかい</small> で、山海 <small>さんかい</small> のごちそうを食べる。



だんごさし



歳の神